

様式第3号（第4条関係）

煙火消費場所状況チェックリスト

名 称 _____ 年 月 日

点検責任者氏名 _____ 確認時刻 午 前・後 _____ 時 分

点検項目	内 容	適	否	措 置	点検者
消費場所 の位置	保安距離は適正か。				
	煙火置場、打揚場所及び仕掛煙火は配置図（申請）とおりの位置か。				
筒の設置 場所	打揚筒の設置場所の地盤が軟弱で発射振動により沈下したり、傾くおそれがないか。				
	足場は滑りやすすくないか。傾斜地等無理な姿勢で作業を行うことはないか。				
筒の設置 方法	筒は丈夫なロープ等により、筒1本ごとに2箇所以上堅固に固定されているか。				
	筒はきれいに清掃され、損傷、変形がなく、紙筒は吸湿等の異常はないか。				
煙火置場 の場所	設置場所が軟弱又は多湿の場合、下に枕木、木板等を敷く等の措置を講じているか。				
	打揚筒等の設置場所から20m以上離れているか。				
煙火置場 の構造	消費中の煙火の出し入れ、火薬の計量等がある場合、煙火置場を設置しているか。				
	火の粉等が容易に侵入しない構造か。				
	テント張りの場合、その生地は難燃性又は防火措置を施してあるか。				
	テントの垂れは、地面に十分到達する長さか。また、地面との隙間はないか。				
	置場内は確実に蓋のできる容器で、かつ、厚手のシート等で十分覆っているか。				
	出入口は打揚筒等の設置場所と反対方向か。				
	車両を煙火置場とする場合、エンジンを停止し、車両を固定させてあるか。				
	煙火置場の周囲には「立入禁止」、「火気厳禁」等の警戒標示がなされているか。				
船上での煙火消費で、筒から20m未満にある煙火置場には適切な防護措置をしているか。					

煙火玉、 打揚煙火 等	煙火玉の導火線の吸湿又は損傷はないか。また、煙火玉等に異常はないか。			
	打揚薬は規定どおり適量であり、適切な装填方法か。また、入れ忘れはないか。			
	打揚火薬は吸湿していないか。			
	筒から20m未満での点火の場合、豊床等の防護措置がなされているか。			
	筒から5m未満での点火の場合、他の点火者の筒から2m以上離れているか。			
	煙火の収納容器の位置、蓋、覆い等の防護方法は適切か。			
	点火者の人数に十分対応した数か。また、申請書記載従事者に変更はないか。			
	電気点火、配線、点火器の能力及び全抵抗値について問題はないか。			
スターマイン	全体の重量を増し、杭、土のう等で全体を安定させているか。			
杵物等	固定は確実か。			
	滝、杵仕掛から20m以内で他の煙火を消費する場合、滝、杵仕掛から関係人は20mを超える距離をとっているか。			
小型煙火	周囲を緊縛し、固定されているか。			
運搬途中	蓋、防火シート等の覆いを十分してあるか。			
火災予防 等	事故が発生した場合の措置が定められ、徹底されているか。			
	消費場所の周囲に可燃物はないか。消火用水等が設置されているか。			
盗難防止	火薬類を存置している間の見張りは万全か。			
警戒体制 等	申請どおりに立看板及び見張り人が配置されているか。			
	立入禁止区域内に人が入り込んでないか。			
	警備本部と、打揚現場及び警備員との連絡手段が確保されているか。			